

ふくい街角景気速報

(平成21年9月分)

調査期間 平成21年9月15日～28日 (回答率: 100%)

概況

景気の現状は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

■景気の現状判断DI 44.8 (前月比 ▲2.2)

家計部門では、小売店やショッピングセンターなどで来客数、客単価の減少が続いているとの声が聞かれた。一部で、大型連休時の売上増加や環境対応車購入に係る減税・補助の効果もみられた。

企業部門では、運輸関連で貨物取扱量に回復の兆しがみられたものの、さまざまな業種で受注価格が下落傾向にあり、受注量も回復傾向がみられないとの声が聞かれた。

雇用部門では、求人数に大きな変化がないとの声がある一方、受注が回復傾向にある企業が増加しているとの声も聞かれた。

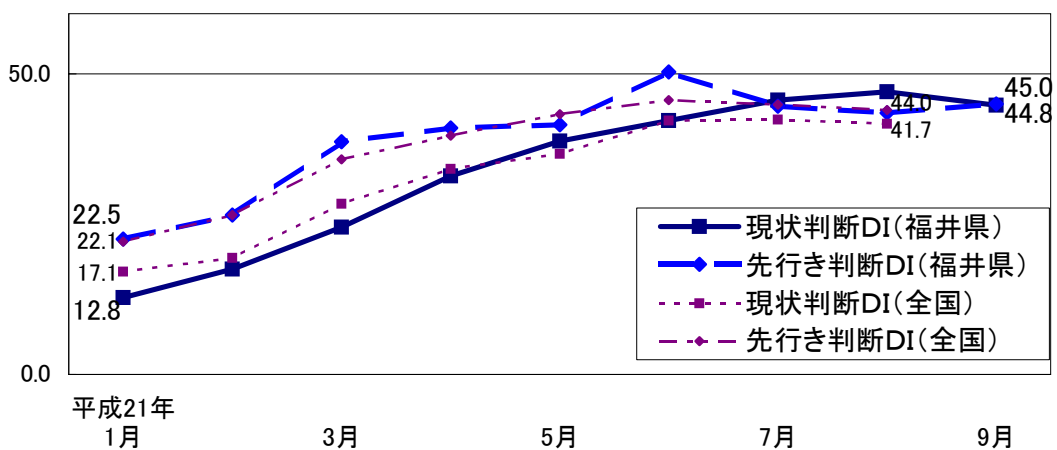
■景気の先行き判断DI 45.0 (前月比 +1.5)

家計部門では、国政の動きや冬のボーナスの動向など先行きに対する不透明感や、新型インフルエンザ流行に対する懸念の声が聞かれた。

企業部門では、繊維、電気機械、運輸関連の一部で受注回復の動きがみられる一方、個人消費の低迷やデフレの進行、受注の先行きを懸念する声も聞かれた。

雇用部門では、来年度の採用計画をほぼ今年度並みとする企業の動きがみられた。

ふくい街角景気速報 判断DIの推移



<目次>	調査の概要	1 P
	1. 景気の現状判断DI	2 P
	2. 景気の先行き判断DI	3 P
	3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
	(2) 景気の先行き判断の理由	8 P
	4. 参考 (1) 調査対象の構成	1 2 P
	(2) 調査票	1 3 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	41	23	13	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	4	0
奥越	大野市、勝山市	12	7	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	16	6	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	6	3
	計	100	54	34	12

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3カ月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、44.8となり、7カ月ぶりに低下した。
 また、「変わらない」とする回答が半数を占め、回復傾向とする回答は約2割あった。
 家計部門では、小売店やショッピングセンターなどで来客数、客単価の減少が続いているとの声が聞かれた。一部で、大型連休時の売上増加や環境対応車購入に係る減税・補助の効果もみられた。
 企業部門では、運輸関連で貨物取扱量に回復の兆しがみられたものの、さまざまな業種で受注価格が下落傾向にあり、受注量も回復傾向がみられないとの声が聞かれた。
 雇用部門では、求人数に大きな変化がないとの声がある一方、受注が回復傾向にある企業が増加しているとの声も聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	2009 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		33.0	38.8	42.2	45.6	47.0	44.8	▲2.2
家計動向関連		29.4	35.2	36.3	41.2	41.2	38.9	▲2.3
小売		25.0	33.8	34.1	37.1	37.5	35.3	▲2.2
飲食		40.6	40.6	43.8	56.3	50.0	43.8	▲6.2
サービス		35.0	35.4	37.5	41.7	45.8	45.8	+0.0
企業動向関連		37.5	44.1	50.7	51.5	52.2	50.0	▲2.2
製造業		38.5	45.2	50.0	51.0	51.9	49.0	▲2.9
非製造業		34.4	40.6	53.1	53.1	53.1	53.1	+0.0
雇用関連		35.4	39.6	43.8	47.9	58.3	56.3	▲2.0

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(8月調査結果)
 現状判断DI 41.7

○回答別構成比

	年 月	2009 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなっている		0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなっている		11.3%	20.0%	15.2%	19.6%	19.0%	19.0%	+0.0
変わらない		36.1%	34.0%	51.5%	49.5%	58.0%	51.0%	▲7.0
やや悪くなっている		25.8%	27.0%	20.2%	20.6%	15.0%	20.0%	+5.0
悪くなっている		26.8%	19.0%	13.1%	9.3%	8.0%	10.0%	+2.0

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、45.0となり、2カ月ぶりに上昇した。
また、「変わらない」とする回答が半数を占め、悪化傾向とする回答は3割弱あった。

家計部門では、国政の動きや冬のボーナスの動向など先行きに対する不透明感や、新型インフルエンザ流行に対する懸念の声が聞かれた。

企業部門では、繊維、電気機械、運輸関連の一部で受注回復の動きがみられる一方、個人消費の低迷やデフレの進行、受注の先行きを懸念する声も聞かれた。

雇用部門では、来年度の採用計画をほぼ今年度並みとする企業の動きがみられた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	2009 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		41.0	41.5	50.3	44.6	43.5	45.0	+1.5
家計動向関連		36.3	37.5	46.7	39.2	38.9	39.4	+0.5
小売		31.8	36.8	42.4	39.5	36.0	37.5	+1.5
飲食		43.8	43.8	56.3	43.8	46.9	53.1	+6.2
サービス		45.0	35.4	52.1	35.4	41.7	35.4	▲6.3
企業動向関連		47.8	46.3	56.6	49.3	45.6	50.0	+4.4
製造業		49.0	49.0	54.8	50.0	48.1	50.0	+1.9
非製造業		43.8	37.5	62.5	46.9	37.5	50.0	+12.5
雇用関連		41.7	45.8	47.9	54.2	58.3	56.3	▲2.0

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(8月調査結果)
先行き判断DI 44.0

○回答別構成比

	年 月	2009 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなる		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなる		12.4%	14.0%	28.3%	16.5%	13.0%	17.0%	+4.0
変わらない		51.5%	49.0%	50.5%	51.5%	56.0%	55.0%	▲1.0
やや悪くなる		23.7%	26.0%	15.2%	25.8%	23.0%	19.0%	▲4.0
悪くなる		12.4%	11.0%	6.1%	6.2%	8.0%	9.0%	+1.0

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状判断	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計 動向	奥越	特産品等販売店	・大型連休があり、観光バスの入り込み数が増え、販売量も増加している。
		嶺南	自動車販売・整備	・政府のエコカー購入支援の効果で、車種に偏りはあるものの、来店数は増加している。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・宝飾、美術品等の価格帯の動きが若干変わってきている。宝飾ではこれまで動きの悪かった単価100万円以上の商品が、わずかではあるが動いてきている。その反面、50～100万円の商品の動きが鈍い。 ・美術も500万円以上の商品が決定する一方、100～300万円の商品の動きは鈍い。一部の富裕層の買上に戻ってきているとも考えられる。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・6、7月とやや来客数が減少したが、8月は昨年並みに戻った。
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	・客単価は依然として前年割れだが、マイナス幅が小さくなってきている。(前年比90%前後だったものが97%近くまで持ち直してきた。)ただし、トータルで見た場合の話であり、業種間の格差は大きい。
		福井	ビジネスホテル	・シルバーウィークがあったため。
		嶺南	旅館	・各旅行会社の概況も、9月は前年比を上回っているようであり、少しずつ明るい兆しが見えてきている。 ・10月以降も予約が好調である。
	企業 動向	嶺南	運輸	・自動車関連貨物の取扱いが上向いている。貨物量全体としては、昨年同期を下回っているものの、3か月前よりは少し上向いている。
		福井	運輸	・取引先企業の貨物量に、先月以降、回復の兆しが出てきている。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動き、取引先の様子から。
	雇用	奥越	高校就職担当者	・9月に入って地元事業所から新規高卒の求人をもらっている。少しずつ良くなるのでは。
		丹南	自治体労働政策担当課	・有効求人倍率、離職者数、企業の業況から。
		福井	ジョブカフェ担当者	・求人数自体は厳しいが、マッチングアドバイザーが巡回している中では、20%程度の企業からやや良くなっているという声がある。 ・企業の受注が最悪期を脱し、70%程度に回復している企業が増加している。
	変わらない	家計 動向	奥越	自動車・建設機械整備
福井			文具販売店	・販売量の動きから。
丹南			菓子製造販売店	・夏休み明けでいつものように少し落ち着き、シルバーウィークを前に、あまり客単価が上がらなかった。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・秋冬トレンド商品の動きはあるが、一品単価としては前年比20%ダウンの傾向が続いている。汎用性、価格がキーワードとなっている。
嶺南			商店街	・単価が下がる一方である。 ・政権交代でムードが良くなればと思う。

現状判断	分野	地区	業種	理由
		丹南	商店街	・特に変化がない。
		嶺南	スーパー	・店舗全体の売上、来客数は若干伸びているが、景気はそれほど変わりないように感じる。
		福井	スーパー	・旧盆需要で例月よりも上向きだが、旧盆以降は来客数、販売量とも例年並みである。
		福井	居酒屋	・来客数や客単価など、全体的に状況が悪い。
		坂井	居酒屋	・平日の来客数が少なく、客単価も低めである。
		坂井	旅行代理店	・景気の停滞、新型インフルエンザの影響による旅行の手控えは、社員慰安旅行では上向きに転じておらず、個人旅行では若干好転してきた程度である。 ・相変わらず、販売量、単価は低迷している。
		福井	ビジネスホテル	・来客数や単価の動き、競争相手の様子から。
		坂井	温泉旅館	・団体旅行が少ない。 ・ほかの旅館が単価を下げている。
		嶺南	ドライブイン	・高速料金が安くなり、外出する人が多かったようである。 ・景気も少しは良くなりつつあるかと思う。
		丹南	眼鏡	・価格破壊が起きており、信じられない単価で受注するメーカーもいるため、産地価格が崩れてきている。
	丹南	鉄鋼	・業界の景況感に回復の兆しが見えず、国内外での受注の引き合いが低迷している。	
	丹南	眼鏡	・フレーム、レンズとも中国製に押され、大手販売店では、眼鏡一式1万8千円均一が1万5千円均一に下がる競争に入った。	
	坂井	繊維	・受注量や取引先の様子から。	
	奥越	繊維	・相変わらず受注環境が厳しく、小ロットの受注が中心となっている。 ・受注価格（単価）に対する値下げ圧力が強い。	
	福井	商社	・法人向けの販売量が昨年よりも悪い。	
	福井	金融機関	・取引先企業の受注状況が大きく改善している例は稀であり、全体的には売上減少に歯止めがかかっていない。 ・売上・受注減少により、資金需要も低迷が続いている。	
	福井	金融機関	・受注量、販売量について、回復の傾向は見られない。 ・受注価格や販売価格の動きについても変化は見られない。	
	福井	繊維	・ここ数年間、受注量が変化していない。 ・お客様の動きも今までは変化していなかった。	
	福井	医薬品	・景況に左右される一般薬、健康食品の回復が見られない。	
	福井	IT関連	・商談件数は徐々に増えているが、結論が先延ばしの状態にある。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・7月の有効求人倍率は上昇したが、政権交代で公共事業の削減が予想され、建設業界等に不安の声がある。
福井		就職情報誌編集者	・求人数に変化がない。	
福井		就職情報誌編集者	・求人数の動きで、正社員よりアルバイトが増加している。	

現状判断	分野	地区	業種	理由	
		嶺南	ジョブカフェ担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな変化は感じない。 ・製造業で少しずつ仕事量が増えているようだが、一時的な動きかもしれない。 	
		嶺南	大学就職担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・企業業績はある程度回復しているようだが、採用計画（来年度卒業見込）の大幅な改善はない。 	
		福井	大学就職担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの企業が今年度の採用活動を終了しており、求人は昨年と比べて約3割減少している。 	
		丹南	高校就職担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数、内定者の動きから。 	
やや悪くなっている	家計動向	奥越	精肉販売店	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に入ってから来客や売上が減少している。 	
		丹南	美容室	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式などの招待や旅行などの時におしゃれをする傾向が一段と強まっている。 ・来店スパンが長くなり、日常生活の中での身だしなみには全く関心がなくなっている。 	
		奥越	写真館	<ul style="list-style-type: none"> ・例年あるお盆時期の同窓会関連の仕事が、今年は全くなかった。 ・お客様の消費意欲は悪いままである。 	
		坂井	土産品等販売店	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路休日割引の効果で、土日祝日はお客様が若干増えてきているものの、お土産にお金を使う動きはみられない。 	
		福井	割烹	<ul style="list-style-type: none"> ・国政の動きにより、来客数が少なくなっていると思う。 	
		福井	百貨店、ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・通常売上の推移が客数、単価ともに下落し、売上が前年の90%を下回っている。 ・シルバーウィークの効果で県産品、酒は好調な動きが見えるものの、デイリーゾーンで苦戦が目立つ。 	
		坂井	百貨店、ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の低下が例年より早く、衣料・住宅関連では秋物の動きが早い。ファッション関係はやや回復基調も、実需の食品は例年夏物が売上の上位を占めるため、やや不振に終わっている。 ・昨年は値上げのピークで、今年は全体として値下がりが一品単価に反映し、客単価の下落がより顕著になっている。 	
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が低迷している。 	
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料部門について、特招会など客単価が大幅に下がった時の購買客数が多く、節約に走っている。また、同じ物を2枚は買わないなど、生活防衛意識がみられる。 	
		奥越	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料費が値上がりしているため。 	
		嶺南	家電量販店	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数は落ちていないが、単価が15%程度下がった。特に、冷蔵庫、テレビの落ち込みが痛い。 	
		福井	旅行代理店	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の販売状況、お客様の旅行申込料から。 	
		嶺南	ドライブイン	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙の影響か、9月に入っても集客は悪く、前年より落ち込みが大きい状況であり、一般団体も同じ傾向である。新型インフルエンザの影響もあるかと思う。 	
		嶺南	タクシー運転手	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様が毎月減ってきているように思われる。 	
		企業動向	丹南	眼鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・販売価格が下落しているため、受注価格の下落に歯止めがかからない。
			丹南	伝統工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・デパート、外食産業、小売の受注量や販売量の動きが悪い。

現状判断	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計 動向	嶺南	化学・プラスチック	・受注量、販売量の動きから。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きがやや悪くなっている。
		坂井	IT関連	・全体的に景気が良くない。（報道と実態が違っていると感じている。） ・荷動きが良くならないため、IT投資をせず、手作業で済ませている状況である。
	企業 動向	丹南	小売店	・9月に入ってから売上が大きく減少している。 ・街なかを見てもお客様が少なく、周辺の企業で働くお客様からは「給与が3割カットされた」という話を聞くなど、依然として景気が悪いと感じている。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・お客様の購買意欲が感じられず、客単価が減少しており、店舗全体の売上も7月以降悪くなっている。 ・食料品がやや悪く、その他全般が悪いという状況。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・客単価が下がっている。
		丹南	スーパー	・厳しい状況は変わらず、お客様の購買意欲は依然低く買い控えが続いている。 ・競合店のチラシ頻度やセール価格、通常価格に注視している。
		坂井	大型小売店	・既存店の来客数、客単価ともに下落が続いている。 ・ノンフーズの動きは依然鈍い状況である。
		嶺南	商店街	・最近の大型店同士の売出し、値引き等の競争により、中小零細店に影響が出ていると思われる。
		福井	スナック	・来客数が極端に少なくなっており、開店以来の不景気である。
福井	タクシー運転手	・利用者数が激減している。		
坂井	非鉄金属	・受注量が減少している。		

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

先行き判断	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計動向	坂井	衣料品販売店	・ネット販売が好調に推移している。
		嶺南	スーパー	・新政権になり、消費面で動きが出てくることを期待している。
		福井	割烹	・年末に近くなるので、来客数が多くなると思う。
	企業動向	嶺南	運輸	・年末にかけては貨物が増える時期であり、期待を込めて良くなって欲しい。
		福井	運輸	・取引先企業の貨物量が回復していくと見込んでいる。
		福井	繊維	・受注先に変化が見られる。受注量が少し上向いてきている。
		奥越	電気機械	・業界全体に回復の動きが出てきており、今後、受注が増えると思込まれる。
	雇用	福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きから。
		奥越	高校就職担当者	・政権交代もあり、気持ちのうえで、景気は少しずつ良くなるのではないかと。
	変わらない	家計動向	丹南	自治体労働政策担当課
福井			スナック	・政権交代により、先行きが不透明であるため。
坂井			居酒屋	・最近の売上げ状況から、今後もあまり期待できない。
奥越			特産品等販売店	・大きな変化はないように思われる。
丹南			菓子製造販売店	・昨年の売上が良かっただけにそれを維持するだけでも苦しい。 ・10、11月は他の店のイベントが多く、また、店以外のイベントも多々行われているため、難しい月である。
嶺南			自動車販売・整備	・政権交代による先行きの不安感と期待感との間で様子見の感がする。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・一客単価、一品単価も前年ダウン傾向が続く、タンス在庫にない物を吟味して買う状況は変わらない。定番と言われる、ベーシックなものは売れない。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・良い、悪いを繰り返し、最終的には変わらないと思う。 ・ごく一部の顧客層に景気の回復感を感じるのみで、幅広い層には広がっていないと思われる。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・通常期の客数、単価が下落しているため、急速な回復は期待できない。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・最近の消費動向をみるとやや良くなると思われるが、新型インフルエンザの影響も懸念される。

先行き判断	分野	地区	業種	理由
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	・冬期賞与を当て込んだ買い物（クレジット払い）が例年より少なく、消費者の生活防衛意識、更には賞与がどの程度出るのか分からない不安のようなものを感じており、冬物の動きも鈍るかと思われる。
		丹南	商店街	・政権が変わったので良くなるかもしれないし、悪くなるかもしれないが、多分変化はないと思う。
		嶺南	商店街	・大阪の展示会に参加したメーカーから、来客数が少なく大阪の景気の悪さが深刻との話を聞いた。
		福井	スーパー	・食料品は天候や景況の影響を受けるものの、衣料品ほどの変化はない。 ・良くなる要素が見当たらないため、現状での推移かと思われる。
		嶺南	家電量販店	・新政権に変わってどのようになるかが不透明である。
		嶺南	旅館	・9月になり大変良い兆しが出ているが、決して楽観できるようなものではなく、新型インフルエンザ流行による影響も軽微では済まないと考えられる。 ・9月度程度で推移できれば良しとしなければならぬだろう。
		坂井	旅行代理店	・さらに下降線をたどる感は受けないが、景気の好転を感じるには、まだ数カ月が必要と思われる。
		福井	ビジネスホテル	・宴会部門については下期増収を見込んでいる。
		坂井	温泉旅館	・忘年会の予約が少ない。（予約が遅くなってきている。）
		嶺南	タクシー運転手	・選挙が終わっても、すぐに景気が良くなるとは思えない。
		嶺南	ドライブイン	・今月は連休もあり、高速料金が安かったため、人の動きもあった。 ・これから先、イベントなどを通じて人の動きが出て、景気も良くなればと思う。
	企業動向	坂井	繊維	・円高進行によるデフレが懸念される。
		奥越	繊維	・円高傾向が続き、輸出に対する期待ができない状況に加え、国内の消費についても雇用情勢の悪化から期待薄で、先行き不安な状況が続く。民主政権がどのような経済対策を実施するのかも不安材料である。
		福井	金融機関	・個人消費・雇用動向に改善の兆しはなく、景気回復は不透明な状況である。 ・政権交代による景気対策を期待したい。
		福井	金融機関	・受注量、販売価格等について、現状と変化はないものとする。
		坂井	一般機械	・特殊な業界では一部戻っているように報道されているが、福井地区ではほとんど悪化状態が継続している。 ・関東地方や関西地方へ営業に回っているが、近県への発注が多く、遠方の我々には非常に困難な状況である。（目茶苦茶安ければ引き合いを出してくれる。）
		福井	化学・プラスチック	・取引先の様子から。
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量、販売量の動きから。

先行き判断	分野	地区	業種	理由
		福井	医薬品	・景況に左右される一般薬、健康食品の回復が見られない。
		福井	IT関連	・22年度予算を12月までに策定する時期に来ているが、来期予算も引き続き厳しい予算になると思われる。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・政権交代で、企業等も様子見の状態と推測する。
		福井	ジョブカフェ担当者	・車関係企業の業績が回復傾向にある。 ・中国関係への輸出も増えているが、この影響が出るにはもう少し時間が必要ではないか。
		嶺南	大学就職担当者	・来年度卒業見込の学生の求人について、採用計画はほぼ今年度並みとの企業の声を聞く。
		福井	大学就職担当者	・7月の完全失業率が過去最悪を記録しており、企業収益の悪化、設備投資の減少等がみられる。
		丹南	高校就職担当者	・求人数、内定者の動きから。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・政権交代で期待するが、すぐに何かが変わるものではないのでは。
やや悪くなる	家計動向	福井	文具販売店	・政権交代による予算凍結等が売上減少の要因になる。
		奥越	写真館	・政権交代したが、消費者は様子見をしているように感じる。 ・さまざまな対策の効果が地方へ波及してくるのか不安である。
		坂井	土産品等販売店	・今まで以上に、必要最小限でお金を使う節約型の方が増えてくると思う。
		福井	居酒屋	・景気が良くなるか悪くなるか分からないので、お金の使わないと思う。
		坂井	百貨店、ショッピングセンター	・気温に多少は影響されるが、季節物が早めに動くことで全体としては単価の下落に歯止めがかかるのではないか。 ・ファッションもよりトレンドが明確になることで、新たな購買が促進され、一時期の不振からは回復していくことを期待する。 ・食品の単価下落がどこまで続くか、やや不透明感がある。
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	・衣料部門について、大手以外は回復しがたいと考える。
		奥越	商店街	・良くなる要因が見当たらない。
		福井	ビジネスホテル	・ビジネスマンの出張が減少してきており、今後、新型インフルエンザが本格的に流行すると思われるため。
		福井	旅行代理店	・先行受注見込みから。
		嶺南	ドライブイン	・民主党に政権交代し、消費者の考え方がまだ不鮮明なところがある。 ・高速料金が安くなったことにより、マイカーのお客様は増えているように思う。
	企業動向	嶺南	建設業	・政権交代による変化が不安である。
		丹南	電気機械	・得意先で勝ち負けが出ている。もう一本調子ではない。 ・今後の生産の傾きは、中国の国慶節後の動向や冬のボーナス次第である。
		福井	商社	・個人向けの販売量は前年並みを見込んでいるが、法人向けは減少が見込まれる。

先行き判断	分野	地区	業種	理由
悪くなる	雇用	坂井	IT関連	<ul style="list-style-type: none"> ・デフレスパイラルになっており、この勢いが止まらない限り景気が良くなる見込みがない。 ・最近、取引先で倒産したところがある。
		福井	就職情報誌編集者	<ul style="list-style-type: none"> ・新政権の政策への不安がある。
	家計動向	丹南	小売店	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの時期はクリスマスや正月を前に消費が控えられ時期に当たり、悪い動きとなることを想定して営業している。
		丹南	美容室	<ul style="list-style-type: none"> ・眼鏡など小規模企業には全く仕事が回って来ず、「仕事が忙しい」「遊びに行けない」などというかつてのお客様の会話は絶無である。 ・子供手当などの政策が末端まで浸透するまでは回復は難しい。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者の実所得の低下と雇用不安による消費マインドの冷え込みにより、景気は悪くなると思われる。
		嶺南	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・政権交代による施工等のブランクが生じ、当分厳しさが増すと思われる。
		丹南	スーパー	<ul style="list-style-type: none"> ・政権交代で期待感はあるが、年末のボーナス支給等も不透明でまだまだ回復は期待できない。
		坂井	大型小売店	<ul style="list-style-type: none"> ・企業業績の改善は見通しが暗く、所得の伸びが期待されない。
		福井	タクシー運転手	<ul style="list-style-type: none"> ・日増しに利用者数が減少している。（特に昼間の利用者数が減少している。）
	企業動向	丹南	眼鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・OEM生産が減少しているので受注が少ない。 ・発注先の不安もあるので、注文を受けにくくなっている。
坂井		非鉄金属	<ul style="list-style-type: none"> ・受注が増える見込みがない。 	

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		54
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	売場主任・店長・従業員	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店員	2
コンビニエンスストア		
	エリア担当	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン、ファストフード等営業担当・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	4
その他サービス関連		
	自動車販売・整備業経営者・従業員	2
	美容室 経営者・従業員	1
	福祉施設 経営者・従業員	1
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	2
企業動向関連		34
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	3
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸関連	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	3
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	2
	運輸	2
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3カ月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3カ月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)